



健やか親子21

平成 29 年度

「健やか親子 21 (第 2 次)」と母子保健計画の策定と評価、
母子保健情報の利活用についての研修

【主催】厚生労働省

〈開催に当たり〉

「健やか親子 21 (第 2 次)」の趣旨を踏まえ、全国で一貫した質の高い母子保健サービスを展開するために、各地方公共団体には母子保健計画等目標設定や事業の評価の仕組み等、取組体制の強化が求められています。そこで本研修は、母子保健行政担当者が母子保健計画の策定を進める際に必要となる評価能力や企画立案能力を養成・向上することで今後、各地方公共団体での計画策定・見直しに活かすことを目的に開催いたします。

〈開催日・会場〉 **受講料:無料** **定員:各 100 名**(定員を超える申し込みがあった場合は先着順)

7 月 10 日(月)【東京】平和と労働センター・全労連会館 2 階 ホール

7 月 21 日(金)【大阪】エル・おおさか 南館 5 階 南ホール

〈受講対象者〉都道府県、市町村の母子保健行政担当者 (特に、学んだことを母子保健計画策定等に活かすことができる者)

※対象者以外はお断りさせていただきます。あらかじめ御了承ください。

※受講される方には事前に簡単なアンケートにお答えいただきます。詳細は受講決定メールにて御確認ください。

〈到達目標〉

- ・「健やか親子21(第2次)」の指標に基づいた母子保健計画の策定、見直しができる。
- ・母子保健計画の PDCA サイクルの進め方を理解し、取組の工夫を学ぶ。
- ・自分の地域の母子保健計画の策定状況から課題と策定のプロセスを理解する。

〈プログラム〉 (受付 9:40~9:55)

9:55~10:00 開会・事務連絡

10:00~11:30 講義

「地域特性に応じた母子保健計画の策定と取組の工夫

~PDCA サイクルを効率的に進めるポイント~

- ・最近の母子保健をめぐる状況と母子保健計画を策定する意義、メリット
- ・母子保健事業における PDCA サイクルの効率的な進め方
- ・母子保健情報を収集する工夫
- ・予算、人員、時間がなくてもできる取組の工夫点

講師：山縣然太郎

11:30~11:45 休憩

11:45~12:15 事例発表

「母子保健計画を策定し取り組んでいる自治体より」

事例発表自治体

12:15~13:15 昼休み

東京：柏市(千葉県)

13:15~16:00 グループワーク

「明日から母子保健計画の策定に取り組むために」

大阪：岡崎市(愛知県)

- ・自分の地域の状況を把握する・取組に至らない理由、課題とは
- ・課題、問題を解決するために・上司を納得させるために
- ・策定のプロセスを学ぶ・グループワークの成果発表

ファシリテーター

16:00~ 閉会・解散

東京：篠原亮次・山崎嘉久

大阪：尾島俊之・松浦賢長

〈講師プロフィール〉 (五十音・敬称略)

尾島 俊之 浜松医科大学健康社会医学 教授 (大阪) 〈ファシリテーター〉

篠原 亮次 健康科学大学健康科学部 教授 (東京) 〈ファシリテーター〉

松浦 賢長 福岡県立大学看護学部学校保健領域 教授 (大阪) 〈ファシリテーター〉

山縣 然太郎 山梨大学大学院総合研究部社会医学講座 教授 (東京・大阪) 〈講義〉

山崎 嘉久 あいち小児保健医療総合センター 副センター長・保健センター長 (東京) 〈ファシリテーター〉

● 本研修に関するお問合せ ●

運営事務局：一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館

<http://www.jfpa.or.jp/> 電話 03-3269-4785 (平日 9 時~17 時・祝日除く) FAX 03-3267-2658

「母子保健指導者養成研修会」WEBサイト ⇒ <http://www.jfpa.info/boshi/>

受講を御希望の方は専用の申込書又はウェブサイトよりお申込みください。